

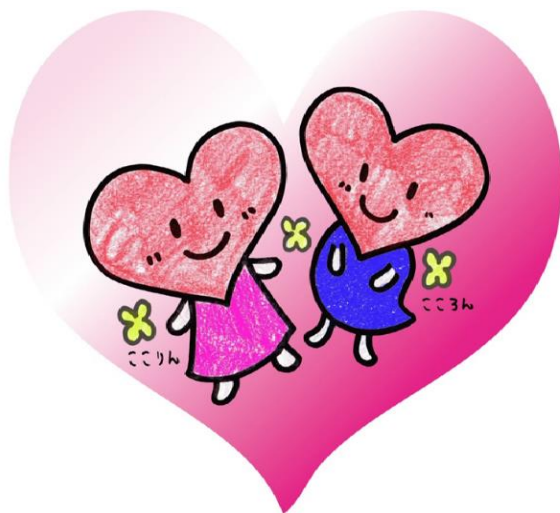
ホームヘルパー・ガイドヘルパー

ヘルパー便い

発行：豊中市社会福祉協議会ヘルパーステーション



平成28年7月発行 第12号



陽輝き渡り夏空の眩しいこの頃、いかがお過ごしでしょうか。こんにちは！豊中市社会福祉協議会ヘルパーステーションです。平素は市社協のホームヘルパー・ガイドヘルパーをご利用いただき誠にありがとうございます。

2016年4月に事務所の移転を行いました。新体制のもと、これまで同様皆様によりよいサービスをご提供できますよう、努力して参ります。

さて今号では「長くホームヘルプ活動を続けるためにヘルパーが行っている腰痛予防」のご紹介や、「豊中市社会福祉協議会ヘルパーステーションの目標」、さらにチーフヘルパーのヘルパーとしてのモットーのご紹介となっております。



「ヘルパーの腰痛予防」

長くホームヘルプ活動を続けるためにヘルパーが行っている腰痛予防をご紹介します。

- 中腰での動作は避ける。
- 身体介護の時は、できるだけ利用者の身体に近づく。
- 作業上必要な物品は近くに置き能率よく動作を行う。
- 利用者の残存機能に合わせて、介護の動作や力を調整する。
- 介護の補助具を有効に活用する。

ぜひご参考にいただければと思います。

豊中市社会福祉協議会

ヘルパーステーションの目標



私たちは、

地域で生活する利用者様に住み慣れた

豊中市で安心して過ごしていただけるようお手伝い

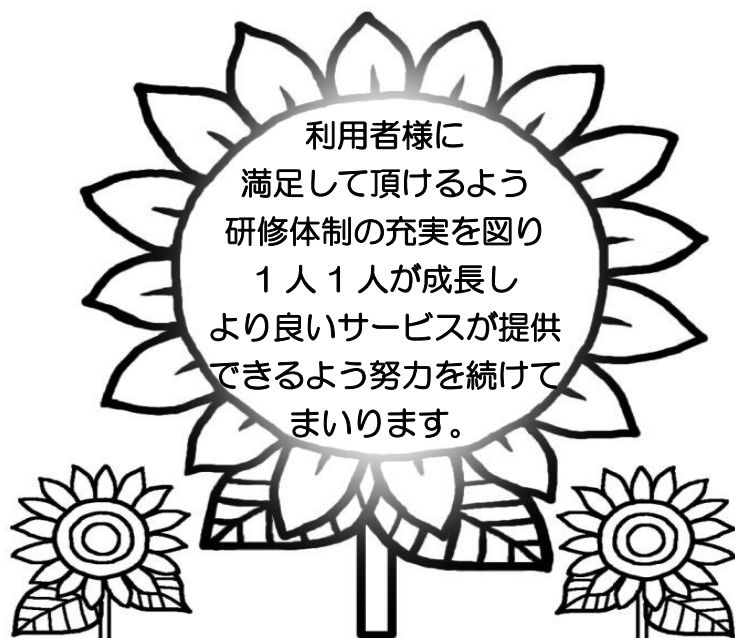
させていただくと共に、他事業・地域住民・関係機関

との連携のもとセーフティネット機能の役割を果たす

ことを目標としてまいります。



豊中市社会福祉協議会ヘルパーステーション
ホームヘルパー 一同



「チーフヘルパーのご紹介」



賛 佐千子



利用者はそれぞれ望む生活が違います。個々の思いを大切にして安全に安心して在宅生活を送っていただけるよう、日々ヘルプ活動しております。

ヘルパーになり早20数年が経ちましたが今でも毎日が勉強です。人の人生の一部に関わらせていただく重要なお仕事だと思います。その人の思いをしっかり感じ取れるヘルパーでありたいと思っています。



福本 文子



木下 真理子

ヘルパーになりたての頃は、自分が受けたい援助をしてあげたいと思っていましたが、自分の年齢が還暦近くなると人としての尊厳を守るヘルパーでありたいと思うようになりました。

チーフヘルパーより手厚い指導を受け
私たちが訪問していま〜す♪



2016年4月付で

◎原田ヘルパーステーション ◎高川ヘルパーステーション

◎桜井谷ヘルパーステーション

は、下記のとおり移転をいたしました。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



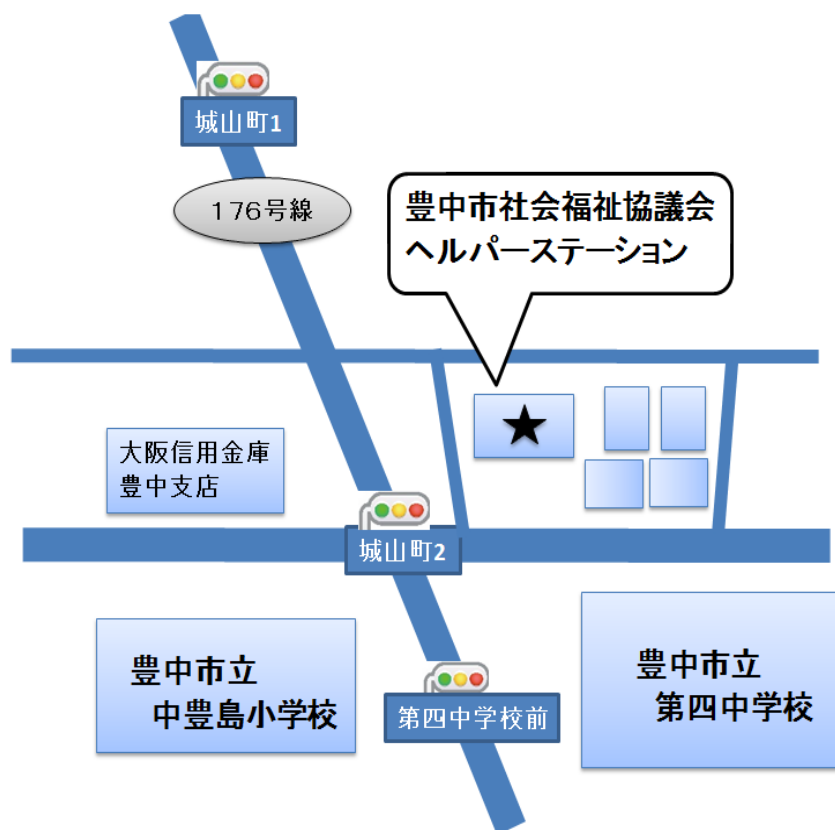
豊中市社会福祉協議会ヘルパーステーション

〒561-0803

豊中市城山町2-9-3

TEL：06-6867-1732

FAX：06-6867-1735



阪急バス「第四中学校前」より徒歩5分